

第5次レッドデータブック：
絶滅のおそれのある日本の野生生物

The 5th Red Databook, Threatened wildlife of Japan

ヒメシラヒゲラン

Odontochilus nanlingensis

日本植物分類学会

絶滅のおそれのある野生生物の選定・評価検討会 維管束植物分科会



令和7（2025）年3月



この文献はクリエイティブ・コモンズ 表示-非営利-改変禁止 4.0 国際ライセンスの下に提供されています。

<https://creativecommons.org/licenses/by-nc-nd/4.0/deed.ja>

種毎の解説を引用する場合には以下のように記述してください。

引用表示：日本植物分類学会. 2025. ヒメシラヒゲラン. 環境省（編） 第5次レッドデータブック：絶滅のおそれのある日本の野生生物.

Citation: Japanese Society for Plant Systematics. 2025. *Odontochilus nanlingensis* Ministry of the Environment, Japan (ed.), *The 5th Red Databook: Threatened wildlife of Japan*.

ヒメシラヒゲラン

*Odontochilus nanlingensis***カテゴリー判定結果** 絶滅危惧 I A 類 (CR) 基準 E

10 年間の絶滅確率が 50%以上。

評価分科会： 維管束植物分科会

基礎情報

【形態】

イナバランに似るが、唇弁にイナバランのようなくしの歯状の突起があり、花被片の基部と葯帽は赤色を帯びる。

【生活史】

地生の多年草。

【生育環境】

常緑樹林内に生育。

【分布域】

奄美大島、台湾・中国（南部）。

現在の生育状況

【生育地の現況】

2018 年調査では 1 メッシュで数十個体の現存が推定された。基準 E により CR とした。

現地調査の集計結果 2018 年調査

【「現存する株数」別のメッシュ数】

<10	<50	<100	<1000	<10000	>10000	合計	絶滅	その他
0	1	0	0	0	0	1	0	0

【存続を脅かす要因上位3項目の件数】

1 番目	2 番目	3 番目
要因		
件数		

特記事項

特になし

旧レッドリストカテゴリーと掲載名

第4次 2020:	ヒメシラヒゲラン	<i>Pristiglottis rubricentra</i>	CR
第4次 2019:	ヒメシラヒゲラン	<i>Pristiglottis rubricentra</i>	CR
第4次 2018:	ヒメシラヒゲラン	<i>Pristiglottis rubricentra</i>	CR
第4次 2017:	ヒメシラヒゲラン	<i>Pristiglottis rubricentra</i>	CR
第4次 2015:	ヒメシラヒゲラン	<i>Pristiglottis rubricentra</i>	CR
第4次:	ヒメシラヒゲラン	<i>Pristiglottis rubricentra</i>	CR
第3次:	ヒメシラヒゲラン	<i>Pristiglottis rubricentra</i>	CR
第2次:	—	—	—
第1次:	—	—	—

都道府県レッドリスト・レッドデータブック掲載状況（令和4年度末時点）

鹿児島県[絶滅危惧 I 類]

保護に係る法令指定状況（令和4年度末時点）

国内希少野生動植物種

参考文献

- 大橋広好・門田祐一・邑田仁・米倉浩司・木原浩（編），2015. 改訂新版日本の野生植物 1. 391pp., 272pls. 平凡社，東京.
- 矢原徹一・藤井伸二・伊藤元己・海老原淳，2015. レッドデータプランツ増補改訂新版. 782pp. 山と溪谷社，東京.

アセスメントサマリー（Assessment summary）

Odontochilus nanlingensis has been assessed for threatened wildlife of Japan Red List 5th edition. *Odontochilus nanlingensis* is listed as CR under criteria E.

E. Quantitative analysis showing the probability of extinction in the wild is at least 50% within 10 years.

Threat types:	No Data
Law designation status for conservation	Endangered Species of Wild Fauna and Flora.

執筆者:	日本植物分類学会
Author:	Japanese Society for Plant Systematics

公表年月：2025 年 3 月